

平成30年10月入学

平成31年 4 月入学

大 学 院

生物システム応用科学府

(B A S E)

食料エネルギーシステム科学専攻

一貫制博士課程

学生募集要項

東 京 農 工 大 学

生物システム応用科学府のアドミッション・ポリシー (入学者受入方針)

教育研究の目的、および人材養成の目的をふまえ、生物システム応用科学府は、以下のような人材を求める。

生物システム応用科学分野の学際性、融合性を考慮し、分野や履歴にとらわれず、高度の専門的・学際的知識の習得と知の開拓に強い意志を持ち、最新の科学技術の展開に関心を抱き、実践的に行動する意欲を持った学生を、広く国内外から受け入れる。

食料エネルギーシステム科学専攻の アドミッション・ポリシー (入学者受入方針)

食料エネルギーシステム科学専攻は、食料、エネルギー、環境の相互不可分の関係を理解し、人類生存の究極課題に熱意を持って挑戦し、複合領域に跨がる広い専門分野の人材を統率できるリーダーとして幅広い分野の専門家と連携したチームを作り、卓越したコミュニケーション力により国際社会で活躍できる人材の養成を目的とする。

よって、次のような人材を求める。

- ・世界の人類の生活と生存、特に食とエネルギーの局面に関心を持つとともに、これらに関する地球規模の課題に対する問題意識を持ち、自然エネルギー分野、蓄電・省エネ技術、バイオマス、環境調和型生産技術、土壌の再生力向上、環境変化に強い農作物の作出、省エネ型植物工場、精密農業技術、持続的要素リサイクルシステムの構築等、食料やエネルギーの生産に直接関わる専門領域の知識や技術の習得を通して、国際社会に貢献する意欲のある者。
- ・専門領域の知識や技術に限らず、これらを間接的に支える、あるいはこれらに大きな影響力を持つ社会システムに関心を持ち、総合的な課題解決に取り組む意欲を持つとともに、幅広い分野の専門家と連携したチーム作りに挑戦し、国際社会とのコミュニケーションを積極的に行う意欲のある者。

教育指導予定教員との連絡について（必須）

出願にあたっては、志望する教育指導教員（後述）と連絡をとり、研究内容、試験日程、試験科目、小論文の選択科目等の確認を必ず行ってください。また、事前に研究指導予定教員（後述）へ連絡し、今後の研究計画等について打ち合わせを必ず行ってください。

小金井地区学生支援室入学試験係

平成30年10月入学・平成31年4月入学
東京農工大学大学院生物システム応用科学府
食料エネルギーシステム科学専攻（一貫制博士課程）
学生募集要項

1 本専攻の特徴

本専攻は、平成24年度に採択されたリーディング大学院プログラムにおいて構築してきたカリキュラムを基にして大学院教育の正規課程として設置されました。

本専攻では、高度な実践型研究人材として、食料、エネルギー、環境の相互不可分の関係を理解し、人類存続の究極課題に熱意を持って挑戦でき、複合領域に跨る広い専門分野の人材を統率できるリーダーとして、幅広い分野の専門家と連携したチームを作り、卓越したコミュニケーション力により国際社会で活躍できる人材の養成を目的としており、下記のような特徴を有しております。

○ 5年一貫教育システム

従来の博士前期課程（2年）と博士後期課程（3年）を貫いた、5年一貫教育システムを採用しています。従来の博士前期課程の1、2年次を“Pre D”、“D0”と呼び、従来の博士後期課程をD1～D3とした5年一貫教育を行うことにより、従来の2年と3年の間の区切りをなくして、海外で実施するワークショップやプログラム、インターンシップ、研究室ローテーションを組み込んだ戦略的な実践教育を可能にしました。

○ 研究室ローテーション等による横断的複数研究指導

学生は、本専攻に所属する専任教員を教育指導教員（後述）とするほか、多角的な視野の形成と複合領域の技術的理解を達成するため、本専攻あるいは本専攻以外の教員を研究指導教員（後述）としてPre DからD0の間、合計3名（研究指導教員A、B、C）を選択し、研究分野をまたがった研究指導を受けることとなります。

○ 四学期制の導入

四学期制（クォーター制）を導入し、学生それぞれの方向性に応じて海外留学など国際的な活動を柔軟に取り込める仕組みとなっています。

2 募集専攻・募集人員等

専攻名	募集人員	備考
食料エネルギーシステム科学	10月入学：若干名 4月入学：10名	募集人員には、外国人留学生若干名及び社会人特別選抜を含む。

平成30年10月入学者、平成31年4月入学者の募集を併せて実施します。

3 出願資格

(1) 一般選抜

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- ① 大学を卒業した者及び入学する月（10月又は4月）の前月（9月又は3月）末日までに卒業見込みの者。
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び入学する月（10月又は4月）の前月（9月又は3月）末日までに学位を授与される見込みの者。
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び入学する月（10月又は4月）の前月（9月又は3月）末日までに修了見込みの者。
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び入学する月（10月又は4月）の前月（9月又は3月）末日までに修了見込みの者。

- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び入学する月（10月又は4月）の前月（9月又は3月）末日までに修了見込みの者。
- ⑥ 専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び入学する月（10月又は4月）の前月（9月又は3月）末日までに修了見込みの者。
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）。
- ⑧ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定する者に限る。）において、修業年限が三年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって⑤号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者。
- ⑨ 個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学する月（10月又は4月）の1日現在22歳に達した者。
- ⑩ 入学する月（10月又は4月）の前月（9月又は3月）末日までに大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学府において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者。ただし、入学する月の前月（9月又は3月）卒業見込みの者を除く。

注) 1.「出願資格⑨⑩」に該当する者及び「学校教育における課程が16年に満たない者」の認定については、出願資格認定の事前審査を行うので、必ず6月4日（月）～6月5日（火）の期間中に小金井地区学生支援室入学試験係に必要書類を提出してください。（7頁「出願資格認定の事前審査について」を参照してください）

2.「出願資格①～⑦」に該当する者は、筆答試験免除を希望することができます。（4頁「選抜方法」を参照してください）

(2) 外国人留学生特別選抜の出願資格

次の1)、2)のすべてに該当する者とします。

- 1) 外国籍を有する者（日本国永住許可を得ている者は除く。）
- 2) 出入国管理及び難民認定法において、大学院入学に支障のない在留資格を有する者又は受験の際に有する見込みのある者で、次の各号のいずれに該当する者。
 - ① 大学を卒業した者及び入学する月（10月又は4月）の前月（9月又は3月）末日までに卒業見込みの者。
 - ② 学校教育法（昭和22年法律第6号）第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び入学する月（10月又は4月）の前月（9月又は3月）末日までに学位を授与される見込みの者。
 - ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び入学する月（10月又は4月）の前月（9月又は3月）末日までに修了見込みの者。
 - ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び入学する月（10月又は4月）の前月（9月又は3月）末日までに修了見込みの者。
 - ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして、当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び入学する月（10月又は4月）の前月（9月又は3月）末日までに修了見込みの者。
 - ⑥ 専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び入学する月（10月又は4月）の前月（9月又は3月）末日までに修了見込みの者。
 - ⑦ 文部科学大臣の指定した者。
 - ⑧ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定する者に限る。）において、修業年限が三年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって⑤

号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者。

⑨ 個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学する月(10月又は4月)の1日現在 22歳に達した者。

⑩ 入学する月(10月又は4月)の前月(9月又は3月)末日までに大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学府が所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者。

ただし、10月入学希望者にあつては、平成30年9月卒業見込みの者、4月入学希望者にあつては、平成31年3月卒業見込みの者を除く。

注)「出願資格⑨⑩」に該当する者及び「学校教育における課程が16年に満たない者」の認定については、出願資格認定の事前審査を行うので、必ず6月4日(月)～6月5日(火)の期間中に小金井地区学生支援室入学試験係に必要書類を提出してください。(7頁「出願資格認定の事前審査について」を参照してください。)

(3) 社会人特別選抜

次に該当する者とします。

一般選抜の出願資格(⑩を除く)に加え、出願する時点で各種研究機関、教育機関、企業等に1年以上勤務中の者又は最終学校卒業後1年以上職にあった者。但し、一般選抜の出願資格⑨に該当する者は出願資格認定の事前審査を行います。

注)「出願資格⑨」に該当する者については、出願資格認定の事前審査を行います。(7頁「出願資格認定の事前審査について」を参照してください。)

4 出願期間

平成30年6月19日(火)～6月26日(火)まで

窓口受付時間：9時30分～11時30分、13時30分～16時

※筆答試験免除を希望する者は、平成30年6月4日(月)～6月5日(火)までの間に出願してください。

5 出願手続

東京農工大学卒業見込みの者は、出願書類を出願期間中に小金井地区学生支援室入学試験係に持参してください。

また、他大学卒業見込みの者、社会人等の志願者のうち郵送にて出願する場合は、出願書類を必ず書留速達としてください。

出願期間中に小金井地区学生支援室入学試験係に到着したものを受理します。

(1) 出願書類

出 願 書 類		注 意 事 項
A	入 学 志 願 票 (所 定 用 紙)	志望する教育指導教員及び主たる研究指導教員に必ず連絡をとり、あらかじめ了承を得てください。
B	写 真 票 ・ 受 験 票 (所 定 用 紙)	1) 写真票・受験票には、志願者本人と確認できる写真(脱帽上半身でタテ4cm×ヨコ3cm)を貼付してください。 2) 志望する教育指導教員欄には、志願票に記入したものと同一の教員名を記入してください。
C	入 学 申 請 用 紙 (書面審査用書類) (所 定 様 式)	1) 受験番号・氏名を記入の上、「1) 本専攻の教育目的とカリキュラムの特徴を踏まえた志望動機、2) 卒業研究概要(卒業研究がない場合は、学部時の研究内容)、3) 今後の研究の予定・展望とそれらと本専攻の教育目的との関連および4) 本専攻終了後の将来構想」について、それぞれ(合計ではありません)日本語で400字以内、もしくは英語200単語以内で記述してください。(A4サイズ1枚程度) 2) 提出日は30年6月19日(火)～6月26日(火)とします。なお、筆答試験免除による選抜を希望する者は、30年6月4日(月)～6月5日(火)の出願時ではなく、30年6月19日(火)～6月26日(火)期間中の提出でも構いません。

D	卒業（見込）証明書 又は学位授与 （申請）証明書	1) 出願資格①、③に該当する者は、出身大学（学部）長が作成した卒業（見込）証明書とします。 2) 出願資格②に該当する者は、学位授与機構長が作成した学位授与（申請）証明書若しくは、出身学校長が作成した学位授与申請証明書。 3) 出願資格認定の事前審査に合格した志願者は、既に事前審査で提出してあるので、提出する必要はありません。
E	成績証明書	1) 最終卒業の学校（学部）長が作成し厳封されたもの。 2) 本学卒業見込みの者は、提出する必要はありません。 3) 外部の英語資格試験のスコアシート（詳細は4頁の一般選抜の試験科目「外国語」欄の記載を参照） 4) 出願資格認定の事前審査に合格した志願者は、既に事前審査で提出してあるので、提出する必要はありません。
F	学歴等調書 （所定用紙）	1) 外国人及び出願資格③に該当する者。 2) 出願資格認定の事前審査に合格した志願者は、既に事前審査で提出してあるので、提出する必要はありません。
G	入学検定料	30,000円〔入学検定料払込用紙に志願者の住所・氏名（フリガナ）を記入のうえ、支払期限までに郵便局窓口で支払い、「振替払込金受付証明書」を入学検定料納付確認票に貼り付けて本学に提出してください。〕※入学後の国費外国人留学生の奨学金支給延長が決定している外国人留学生は納入不要。
H	受付用シール及び 連絡受信先シール （所定用紙）	必要事項を記入してください。提出後、住所等の変更があった場合は速やかに小金井地区学生支援室入学試験係に連絡してください。
I	その他	1) 外国人は、住民票の写し（国籍等、在留資格、在留期間及び在留期間の満了の日が記載されたものに限り。）又はパスポートの写しを提出してください。 2) 国費留学生は、国費外国人留学生証明書を提出してください。ただし、本学に在籍中の国費留学生は提出不要。

(2) 出願書類提出先

〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16
 東京農工大学 小金井地区学生支援室入学試験係
 東京農工大学小金井キャンパス管理棟（1階）

6 選抜方法（一般選抜・外国人留学生特別選抜・社会人特別選抜）

入学試験には、「一般選抜」、「外国人留学生特別選抜」及び「社会人特別選抜」の異なる選抜方法があります。出願資格を確認の上、希望する選抜方法を選択して下さい。

いずれの選抜方法においても、「書面審査」「学力検査」の2つを実施し、これらを総合的に評価し、合否判定を行います。

ただし、それぞれの選抜で「学力検査」の内容が異なります

また、「一般選抜」には、学力に優れたことが証明される者に対して、「学力検査を免除する制度（筆答試験免除による選抜）」があります。

「筆答試験免除による選抜」を希望する者は、事前に志望する教育指導教員及び研究指導教員と必ず連絡をとって下さい。

「筆答試験免除による選抜」は出願期間が通常よりも早い時期に設定されておりますので、ご注意ください。

なお、判定の結果、筆答試験を免除されなかった者も、改めて「筆答試験による選抜」にて「学力検査」を受験することができます。

身体に障害があり、受験上及び修学上特別な配慮を希望する方は、小金井地区学生支援室入学試験係まで申し出て下さい。

〔1〕書面審査

本専攻の趣旨の理解度と本専攻の学生としての資質を評価するため、出願時に提出する「入学申請用紙（所定用紙）」による書面審査を実施します。

〔2〕学力検査

1) 一般選抜

一般選抜では、学力検査各科目の成績を総合的に評価し、合否判定を行います。

ただし、筆答試験免除を希望する者に対しては、提出された成績証明書等による成績確認及び面接により筆答試験免除の資格判定を以下のとおり行います。

(1) 筆答試験免除による選抜

① 出願受付期間 平成30年6月4日（月）～6月5日（火）

- ② 資格判定（成績確認及び面接）実施日 平成30年6月11日（月）～6月13日（水）
 ③ 資格判定の結果は、平成29年6月18日（月）に発送します。
 資格判定の結果、筆答試験を免除されなかった者も、次の(2)により筆答試験を受験することができます。
 ④ 資格判定の結果、筆答試験を免除された者は、以下の日時に口述試験を行ない、口述試験と書面審査の結果を総合して合否判定を行います。

月 日	時 間	科 目	場 所
8月24日（金）	詳細については別途お知らせします。	口述試験	東京農工大学小金井キャンパス内 （詳細については別途お知らせします。）

(2) 筆答試験による選抜
 試験科目

※ 外国語（英語） 100点満点	外部の英語資格試験（いずれか一つ）のスコアシート（成績証明書）の原本を提出すること。 (1) 本学が指定する外部の英語資格試験は、TOEIC公開テスト、TOEIC-IPテスト（本学実施に限る）、TOEFL PBT、TOEFL iBTとする。 (2) 出願書類として提出するスコアシートは、TOEIC、TOEIC-IPテストの場合、Official Score Certificate（公認認定証）の原本とする。TOEFL PBT、TOEFL iBTの場合、Examinee Score Report（受験者用控えスコア票）の原本とする。 (3) スコアシート（成績証明書）原本は、当該試験願書提出期限から遡って2年以内に受験したものに限る。 (4) 願書提出期限までに提出できない場合は、その理由が認められた場合に限り、受験当日までの提出を認める。
基 礎 100点満点	筆答試験 ※4月入学者のみ受験 以下の16題の中から任意の4題を選択する。 1.解析学、 2.線形代数学、 3.フーリエ及びラプラス変換、 4.確率及び統計学、 5.力学、 6.電磁気学、 7.光学及び波動、 8.情報基礎、 9.物理化学、 10.有機化学、 11.無機化学、 12.分析化学、 13.分子生物学、 14.細胞生物学、 15.生理・生化学、 16.生態学
小論文 100点満点	筆答試験 ※10月入学者のみ受験

◎TOEICのスコアを100点満点に換算します。

※本学府が定めるTOEIC以外（TOEFL PBT、TOEFL iBT）の外部テストスコアのTOEICスコアへの換算については、**小金井地区学生支援室入学試験係にお尋ねください。**

日時及び場所

月 日	時 間	科 目	場 所
8月22日（水）	10：00～11：30	筆答試験	東京農工大学小金井キャンパス内 （詳細については別途お知らせします。）
8月24日（金）	詳細については別途お知らせします。	口述試験	

2) 外国人留学生特別選抜

外国人留学生特別選抜は、口述試験と提出された成績証明書による成績確認の結果を総合して合否判定を行います。なお、口述試験はこれまでの研究に関するプレゼンテーションとなります。

日時及び場所

月 日	時 間	科 目	場 所
8月24日（金）	詳細については別途お知らせします。	口述試験	東京農工大学小金井キャンパス内 詳細については出願時に案内を配布する

3) 社会人特別選抜

社会人特別選抜は、下表に従って、社会人での経験・研究等について、学力検査（口述試験）、成績証明書、業績内容等を総合して合否判定を行います。なお、口述試験はこれまでの研究に関するプレゼンテーションとなります。

月 日	時 間	科 目	場 所
8月24日(金)	詳細については別途お知らせします。	口述・口頭発表	東京農工大学小金井キャンパス内 詳細については出願時に案内を配布する

7 合格者発表

平成30年9月3日（月）午前10時に小金井キャンパス管理棟1階掲示板
合格者には受験票により確認のうえ合格通知書等を郵送します。

8 入学手続

(1) 日時及び場所

①平成30年10月入学者

日時：平成30年9月13日（木）

場所：小金井キャンパス内（予定）

②平成31年4月入学者

日時：平成31年3月14日（木）

場所：小金井キャンパス内（予定）

(2) 入学に要する費用

① 入学料……282,000円

② 授業料

平成30年10月入学者……後期分 267,900円

平成31年4月入学者……年額 535,800円（前期分 267,900円、後期分 267,900円）

ただし、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(3) 必要書類等

他の大学院に在学中の方は退学証明書を提出してください。なお、提出できない場合は入学許可を取り消すことがあります。

(4) その他

身体に障害があり、修学上特別な措置を希望する方は、大学院生物システム応用科学府事務室へ申し出てください。

9 注意事項

- (1) 出願に当たっては、志望する教育指導教員に連絡し、事前に確認を得てください。
- (2) 学力検査には、必ず受験票を携帯してください。
- (3) 試験日には、筆記用具を持参してください。
- (4) 出願手続後における提出書類の内容変更は認められません。
- (5) 本要項及び大学から指示する諸事項を守らない場合は、受験できない場合があります。
- (6) 入学試験に関する照会先は、出願書類提出先となります。
- (7) これ以外の試験に関する注意事項は、出願時に配布します。
- (8) 納入した検定料は、いかなる理由があっても払い戻せませんので、ご留意願います。

10 指導教員

本専攻に進学する学生は、以下の2種類の指導教員により、教育研究上の指導を受けます。

志望する教育指導教員及び研究指導教員について、それぞれの指導教員名を入学志願票（所定用紙）に記載して下さい。

(1) 教育指導教員

本専攻の8名の専任教員が担当します。キャリア開発プログラム、研究指導B、Cの選択方法、海外研修、共同研究等を研究指導教員と相談しながら助言するなど本専攻のカリキュラム受講をサポートする教員です。

教育指導教員の選出を行う際には必ず希望する教員（次ページ）に連絡を取り担当について承諾を得てください。また、担当学生が多数重なる場合は他の教員の選出をお願いすることがありますので、ご了承下さい。

また、志望する主たる研究指導教員については、教育指導教員に事前に必ず報告あるいは相談してください。

教育研究分野名	教 員 名
物質エネルギーシステム	教 授 神 谷 秀 博
物質エネルギー設計	教 授 富 永 洋 一
エネルギーシステム解析	教 授 秋 澤 淳
生物情報計測システム	教 授 榊 田 晃 司
生態系型環境システム	教 授 豊 田 剛 己
生物応答制御科学	准教授 梅 澤 泰 史
食料安全科学	教 授 佐 藤 令 一
環境モニタリングシステム	准教授 赤 井 伸 行

(2) 研究指導教員

本専攻及び本学の工学府博士前期課程、農学府修士課程、生物システム応用科学府生物機能システム科学専攻博士前期課程のいずれかの教員を研究指導教員とすることが可能です。

また、志望する教育指導教員については、研究指導教員に事前に必ず報告または相談してください。

11 出願資格認定の事前審査について

出願資格の認定については、以下のとおり事前審査を行いますので、事前審査申請書類受付期間中に必要書類をそろえ小金井地区学生支援室入学試験係に提出してください。

(1) 出願資格認定を要する者

- 1) 一般選抜の出願資格⑨⑩に該当する者。
- 2) 外国人留学生特別選抜の出願資格⑨⑩に該当する者。
- 3) 社会人特別選抜の出願資格⑨に該当する者
- 4) 学校教育における課程が16年に満たない者。

(2) 事前審査申請書類受付日時

受付期間……平成29年6月1日（木）～6月2日（金）

受付時間……9時30分～11時30分、13時30分～16時

受付場所……小金井キャンパス管理棟（1階）小金井地区学生支援室入学試験係

(3) 必要書類

事前審査申請書	所定用紙
志望理由書	所定用紙
学歴等調書	所定用紙
最終学校の成績証明書及び卒業証明書	1) 最終学校長が作成し厳封したもの 2) 出願資格⑩については、成績証明書のみ 3) 出願資格⑨については、卒業後10年以上経過した者は卒業証明書のみ
研究報告書等	1) A4用紙を使用し書式自由 2) 印刷物等がある場合は代用可 3) 出願資格⑨に該当する者のみ提出すること

(4) 事前審査日時

詳細は、おって通知します。

(5) 事前審査結果発表

平成30年6月13日(水) 午前10時に小金井キャンパス管理棟1階掲示板で発表します。

(6) 出願資格が認定された者の出願手続

事前審査の結果、出願資格の認定を受けた者は、一般志願者と同様の出願手続を行ってください。

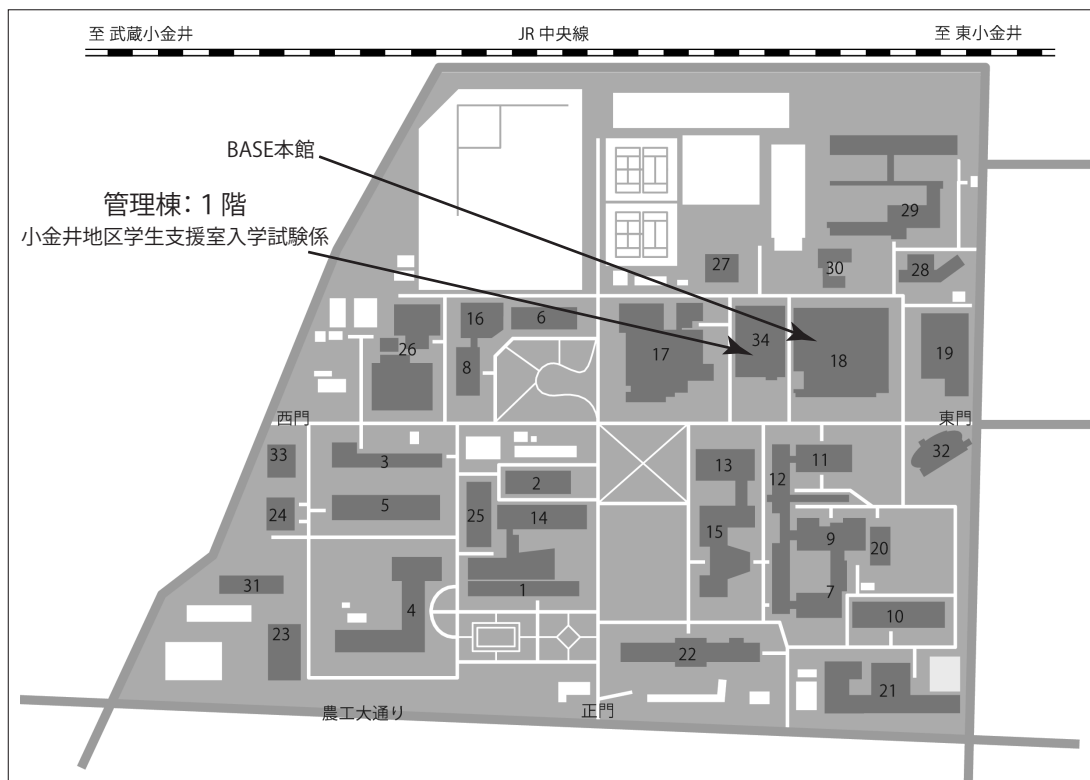
12 「リーディング大学院プログラム」担当教員名簿

本専攻のカリキュラムの立案や実施・運営等にご協力いただいている「リーディング大学院プログラム」の担当教員です。

氏名	所属・職名	備考
うめだ のりひろ 梅田 倫弘	理事(教育担当)・副学長	プログラム責任者
ありえ つとむ 有江 力	連合農学研究科・生物生産科学専攻・教授	プログラムコーディネーター
みやうら ちさと 宮浦 千里	生物システム応用科学府・共同先進健康科学専攻・教授	副プログラムコーディネーター
よおだ まさふみ 養王田 正文	工学府・生命工学専攻・教授	副プログラムコーディネーター
ほそみ まさあき 細見 正明	工学府・応用化学専攻・教授	副プログラムコーディネーター
くまがい よしなお 熊谷 義直	工学府・応用化学専攻・教授	タスクフォースメンバー
さかい けんし 酒井 憲司	連合農学研究科・農業環境工学専攻・教授	タスクフォースメンバー
いずた たけし 伊豆田 猛	連合農学研究科・環境資源共生科学専攻・教授	タスクフォースメンバー
なかむら のぶみ 中村 暢文	工学府・生命工学専攻・教授	
ながさわ かずお 長澤 和夫	工学府・生命工学専攻・教授	
なおい かつひこ 直井 勝彦	工学府・応用化学専攻・教授	
わたなべ としゆき 渡邊 敏行	工学府・応用化学専攻・教授	
かめだ まさほる 亀田 正治	工学府・機械システム工学専攻・教授	
みさわ かずひこ 三沢 和彦	工学府・物理システム工学専攻・教授	
ないとう みちお 内藤 方夫	工学府・物理システム工学専攻・教授	
しらかし じゅんいち 白樫 淳一	工学府・電子情報工学専攻・教授	
ちば かずひろ 千葉 一裕	連合農学研究科・応用生命科学専攻・教授	
おおかわ たいいちろう 大川 泰一郎	連合農学研究科・生物生産科学専攻・教授	
はすみ けいじ 蓮見 恵司	連合農学研究科・応用生命科学専攻・教授	
しぶさわ さかえ 澁澤 栄	連合農学研究科・農業環境工学専攻・教授	
たなか つよし 田中 剛	生物システム応用科学府・共同先進健康科学専攻・教授	
たなか あかね 田中 あかね	生物システム応用科学府・共同先進健康科学専攻・教授	

13 所在地

東京農工大学小金井キャンパス案内図



1 1号館(応用分子化学科・有機材料化学科・化学システム工学科)	9 9号館(機械システム工学科)	19 工学部総合会館	32 140周年記念会館(エリプス)
2 2号館(機械システム工学科)	10 10号館(生命工学科・応用分子化学科・情報工学科)	20 CAD/CAM実習施設	33 次世代キャンパ研究センター
3 3号館(電気電子工学科・産業技術専攻)	11 11号館(生命工学科・機械システム工学科)	21 先端産学連携研究推進センター(VBL棟・共同研究施設・インキュベーション施設)	34 管理棟(愛称: CUBE)(工学部事務局)
4 4号館(有機材料化学科・化学システム工学科・物理システム工学科・産業技術専攻)	12 12号館(生命工学科・有機材料化学科・機械システム工学科・情報工学科)	22 科学博物館	
5 5号館(化学システム工学科・電気電子工学科・機器分析センター・産業技術専攻)	13 13号館(国際センター)	23 先端科学実験棟	
6 6号館(機械システム工学科)	14 新1号館(応用分子化学科・電気電子工学科)	24 環境管理施設	
7 7号館(情報工学科)	15 工学部講義棟	25 ものづくり創造工学センター	
8 8号館(総合情報メディアセンター)	16 中央棟	26 体育館・武道場	
	17 小金井図書館	27 工学部RI実験研究棟	
	18 BASE本館(大学院生物システム応用科学府(BASE))	28 小金井国際交流会館	
		29 柳寮(男子寮)	
		30 桜寮(女子寮)	
		31 小金井第2宿舎(職員宿舎)	



◎交通機関

J R中央線 東小金井駅 (新宿から約22分) nonowa口から徒歩約6分、南口から徒歩約8分
武蔵小金井駅 (立川から約13分) 南口から徒歩約13分

〒184-8588 東京都小金井市中町2丁目24-16
小金井地区学生支援室入学試験係

☎ (042) 388-7014 (直通)

受験志願者 各位

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府

提供いただいた情報の利用について

受験出願に際し提供いただいた個人情報、本学のプライバシーポリシー（平成17年8月公表 URL. <http://www.tuat.ac.jp/>）に規定する利用目的に沿って利用するものであり、その利用目的以外の目的に利用することはありません。

受 験 番 号
※

平成 30 年 10 月入学 東京農工大学大学院
生物システム応用科学府食料エネルギーシステム科学専攻 一貫制博士課程

入 学 志 願 票

筆答試験免除を		☐ 申請する。 ☐ 申請しない。	
一 般 選 抜・外国人留学生特別選抜・社会人特別選抜 (希望する選抜に○印をつける)			
志望する教育指導教員		研究指導予定教員	
教 員 名		所属学府・専攻	教員名
ふ り が な 氏 名			男 ・ 女
生 年 月 日	(昭和・平成) 年 月 日生		
本 籍 国籍又は地域	都・道・府・県 国・地域		
現 住 所	(〒 -)	電話 ()	
連 絡 場 所	(〒 -)	電話 () E-mail: ()	
出 願 資 格	大学 学部 学科 平成 年 月 日 卒業・見込み		
学 歴 及 び 職 歴	昭和 平成 年 月 立 高等学校卒業		
	昭和 平成 年 月 大学 学部入学		
	昭和 平成 年 月 大学 学部 卒業 卒業見込		
	昭和 平成 年 月		
	昭和 平成 年 月		
	昭和 平成 年 月		

注) 1. ※印欄には記入しないこと 2. 該当する文字を○で囲むこと

平成 30 年
10 月 入 学

受 験 番 号
※

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府
食料エネルギーシステム科学専攻
一貫制博士課程

写 真 票

ふ り が な 氏 名	
生 年 月 日	(昭和・平成) 年 月 日生

志望する 教育指導教員名	研究指導予定教員名

写 真 貼 付 欄
1. 写真は脱帽上半身 4cm×3cm。
2. 全面に糊付すること。

注) 1 ※印欄には記入しないこと。

平成 30 年
10 月 入 学

受 験 番 号
※

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府
食料エネルギーシステム科学専攻
一貫制博士課程

受 験 票

ふ り が な 氏 名	
生 年 月 日	(昭和・平成) 年 月 日生

志望する 教育指導教員名	研究指導予定教員名

写 真 貼 付 欄
1. 写真は脱帽上半身 4cm×3cm。
2. 全面に糊付すること。

注) 1 学力検査の際は必ず本票を机上におくこと。
2 ※印欄には記入しないこと。

受 験 番 号
※

平成 31 年 4 月入学 東京農工大学大学院
生物システム応用科学府食料エネルギーシステム科学専攻 一貫制博士課程

入 学 志 願 票

筆答試験免除を		☐ 申請する。 ☐ 申請しない。	
一 般 選 抜・外国人留学生特別選抜・社会人特別選抜 (希望する選抜に○印をつける)			
志望する教育指導教員		研究指導予定教員	
教 員 名		所属学府・専攻	教員名
ふ り が な 氏 名			男 ・ 女
生 年 月 日	(昭和・平成) 年 月 日生		
本 籍 国籍又は地域	都・道・府・県 国・地域		
現 住 所	(〒 -)	電話 ()	
連 絡 場 所	(〒 -)	電話 () E-mail: ()	
出 願 資 格	大学 学部 学科 平成 年 月 日 卒業・見込み		
学 歴 及 び 職 歴	昭和 平成 年 月 立 高等学校卒業		
	昭和 平成 年 月 大学 学部入学		
	昭和 平成 年 月 大学 学部 卒業 卒業見込		
	昭和 平成 年 月		
	昭和 平成 年 月		
	昭和 平成 年 月		

注) 1. ※印欄には記入しないこと 2. 該当する文字を○で囲むこと

平成 31 年
4 月入学

受 験 番 号
※

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府
食料エネルギーシステム科学専攻
一貫制博士課程

写 真 票

ふ り が な 氏 名	
生 年 月 日	(昭和・平成) 年 月 日生

志望する 教育指導教員名	研究指導予定教員名

写 真 貼 付 欄
1. 写真は脱帽上半身 4cm×3cm。
2. 全面に糊付すること。

注) 1 ※印欄には記入しないこと。

平成 31 年
4 月入学

受 験 番 号
※

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府
食料エネルギーシステム科学専攻
一貫制博士課程

受 験 票

ふ り が な 氏 名	
生 年 月 日	(昭和・平成) 年 月 日生

志望する 教育指導教員名	研究指導予定教員名

写 真 貼 付 欄
1. 写真は脱帽上半身 4cm×3cm。
2. 全面に糊付すること。

注) 1 学力検査の際は必ず本票を机上におくこと。
2 ※印欄には記入しないこと。

東京農工大学生物システム応用科学府
食料エネルギーシステム科学専攻

入 学 申 請 用 紙

受 験 番 号	※	氏 名	
---------	---	-----	--

募集要項と本専攻の教育目的の趣旨に基づき、以下の項目について、それぞれ 400 字以内（英語なら、200 単語以内）で記述してください。（この様式であれば、別紙にて作成可）

1. 本専攻の教育目的とカリキュラムの特徴を踏まえた志望動機
2. 卒業研究概要（卒業研究がない場合には、学部時の研究内容）
3. 今後の研究の予定・展望と、それらと本専攻の教育目的との関連
4. 本専攻修了後の将来構想

--

注) 1 ※印欄には、記入しないこと。

学 歴 等 調 書

【外国人、出願資格③⑨⑩により出願する者】

フリガナ		受験番号	※
氏 名	⑩	性 別	男 ・ 女
生 年 月 日	年 月 日 (歳)	国 籍	

学 歴		学 校 名	所 在 地	正 規 の 修 学 年 数	入 学 年 月 卒 業 年 月	学 位 ・ 資 格
小 学 校 又 は 初 等 教 育			年	年 月 年 月		
中 学 校 又 は 中 等 教 育			年	年 月 年 月		
高 等 学 校 又 は 中 等 教 育			年	年 月 年 月		
大 学 又 は 高 等 教 育			年	年 月 年 月		
			年	年 月 年 月		
			年	年 月 年 月		
以上を通算した全学校教育修学年数			年	年		

職 歴		勤 務 先	所 在 地	勤 務 期 間	役 職	勤 務 内 容
				年 月 年 月		
				年 月 年 月		
				年 月 年 月		
以上を通算した全勤務年数			年			

【出願資格認定の事前審査を申請する者】

平成 年 月 日

事前審査申請書

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府長 殿

志願者 氏^{ふりがな}名

⑩

今般、貴大学大学院生物システム応用科学府食料エネルギーシステム科学専攻一貫制博士課程に入学を志願するに当たり、事前審査を受けたく、所定の書類を添えて申請しますので、よろしくお願い致します。

【出願資格認定の事前審査を申請する者】

志 願 者 番 号

※

志 望 理 由 書

氏 名 _____

◎ 志望理由、過去の研究歴や研究内容と入学後において希望する研究内容との関係等について400字以内（英語なら200単語以内）で記述してください。（この様式であれば、別紙にて作成可）記入してください。

注）1 ※印欄には、記入しないこと。

入学検定料納付確認票

受験番号	※
------	---

「振替払込受付証明書」を
貼り付けてください。

(注意)

1. 郵便局・ゆうちょ銀行の受付
日附印がないものは無効です。
2. 振替払込受付証明書の所定欄
に志願者住所・氏名を必ず記
入してください。
3. 振替払込請求書兼受領証は大
切に保管し、ここに添付して
はいけません。
4. 納入された入学検定料は原則
返還しません。

※印欄は記入しないでください。

- ・本払込用紙に、志願者(ご依頼人)の住所・氏名(フリガナ)を記入のうえ、支払期限までに郵便局・ゆうちょ銀行窓口でお支払いください。
- ・右端の「振替払込受付証明書」を、入学検定料納付確認票に貼り付けて提出してください。(受付局日附印のないものは無効)
- ・「振替払込請求書兼受領証」は受領証書となります。改めて本学から受領証書は発行いたしませんので、大切に保管してください。

票 扱 取 込 払

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

切り取らないでお出してください

記載事項を訂正した場合はその箇所に訂正印を押してください

切り取らないでお出してください

（私製承認東京貯金事務センター第1232号）

① 入学検定料は、必ずこの払込用紙を使用して郵便局・ゆうちょ銀行で払い込んでください。

② 払込の際に日附印を押印した「振替払込受付証明書」を受け取り、入学検定料納付確認票の指定欄に貼り付けて提出してください。

(注意)

志願者住所、氏名欄に記入漏れがないか、郵便局・ゆうちょ銀行の日附印が漏れていないか、確認の上提出してください。

(記入漏れ、日附印のないものは無効となります。)

(ご注意)

・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。

・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。

・この用紙による、払込料金は、ご依頼様が負担することとなります。

・ご依頼様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。

・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収 入 印 紙
3 万円以上
貼 付

印

この場所には、何も記載しないでください。

- ① ※印欄は記入しないでください。
- ② このシールは、台紙にのり付けされたままの状態で提出してください。

受 付 用 シ ー ル

氏 名	性別	出身 大 学	大学記入	教育指導教員	研究指導 予定教員	入 学 期	学 籍 番 号 (本学卒業) (見込み者)	備 考
ふりがな	男・女	大学	※			平成30年10月 平成31年 4 月		※
		学部	学科					
		学群	学類					
(昭和・平成) 年 月 日生		年 月卒業・卒業見込・在学中						

連 絡 受 信 先 シ ー ル

このシールは、「入学手続き類」、その他連絡事項を送付する場合の宛名として使用します。

郵便番号

〒 ー

住 所

氏 名

殿

(※)

〒 ー

殿

(※)

〒 ー

殿

(※)

〒 ー

殿

(※)